令和7年度 長崎県立佐世保商業高等学校「ふるさと教育」体系図

テーマ

まちの未来を創る ~地域で学び 地域で育てる職業人~

目 標

生徒:地域をフィールドとしたさまざまな活動を行うことで、ふるさとに対する愛着と誇りを持ち、ふるさとに貢献したいという意識を高める

教員:専門学科の特性を生かしながら、仕事や社会で通用する人材育成のための教育力を高める

育成したい 資質・能力

ふるさと肯定感※

思考力、判断力、表現力 コミュニケーションカ

主体性・協働性

外部 機関

市内小中学校佐世保市教育系 委員会

連携・協働

長崎県立佐世保商業高等学校

(会計ビジネス科 情報マーケティング科 国際コミュニケーション科 全学年510名)

ふるさと教育推進委員会(校内)

委員長:校長 副委員長:副校長、教頭 委員:商業科主任、国際コミュニケーション科主任、進路指導主事

主な取り組み

- ロキャリア教育(全学年・全学科):LHR
 - インターンシップ(1学年)県内企業説明会(2学年)
 - 県内企業就職内定者講話(1 2年)
- 口探究活動(国際コミュニケーション科):総合的な探究の時間
 - ふるさと(佐世保市)と世界の関係を知り、課題解決するための探究活動
- □課題研究(商業科):商業科目を中心とした授業等
 - 地域をフィールドとした研究と実践
- 商品開発実習(地域企業との協働)

ビジネスプラングランプリ参加

- 校内外販売実習
- サイバーセキュリティボランティア参加
- ・ 観光ビジネスの外部連携

成果指標

- (1) 将来ふるさとの発展に貢献したいという意識向上の生徒の割合 (85%) (90%)
- (2) ふるさとに誇りを持てるようになった生徒の割合

連携・協働

外部 機関

長崎県警察本部市内事業所 佐世保商工会議所

協働

※ ふるさと肯定感とは「ふるさとを積極的に評 価し、その価値や将来性を認める感情」と定義 する造語です。